

日置川を考える会 議事録（概要版）

日時：平成 28 年 5 月 20 日（金）14:00～15:30

場所：日置川拠点公民館 2階大会議室



1. 開会

2. 議事内容

- 1) 日置川を考える会の設立趣旨・規約について
- 2) 日置川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について

3. 審議内容及び決定事項

3.1 設立趣旨・規約の承認

日置川を考える会の設立趣旨・規約について、事務局から説明を行い、委員の承認を得た。

3.2 日置川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について

日置川の現状と課題及び河川整備計画の目標と整備内容について事務局から説明。

説明に対する委員からの主な意見・質問は以下のとおり。

〈主な意見・質問〉

- ◆ 県道日置川大塔線で、ダム放流によって浸水する区間がロケ谷地区と大・玉伝地区に当たるので、ここを優先すべきと思う。(委員)
 - ◆ ロケ谷橋の周辺が今回の河川整備計画の整備対象区間に含まれていないが、その辺はどのように考えればいいのか。(委員)
- 今回の河川整備計画では、家屋の浸水被害の解消を目標に考えている。ロケ谷地区や大・玉伝地区は道路や田畑は浸かるが家屋は浸からないため、今回の整備対象とはなっていない。(事務局)
- ◆ 日置川で河床の砂利を取るのは限界だと思う。これ以上取れば塩害も上流へ上っていき、川の資源も激減している現状にあるので、川底をさわるのではなく、築堤などで日置川を守っていくことを考えて欲しい。(委員)

◆日置川では河床の掘削は底についたように感じ、これ以上いくら水害を無くす名目があるにしても、河床をさわるのはダメと思う。これに代わる対策として、堤防の補強、堤防の無い所に堤防を作る、堤防がある所は機能保全という形で壊れかかっている所を新たにやり直すことで考え直して欲しい。(委員)

→ 河道掘削については、みお筋（常に水が流れている部分）は触らず、洪水の時だけ水が流れるところだけを切り下げることで進めていこうと考えている。(事務局)

◆日置川の河川整備計画では抜本的な対策をやってもらえと思っていた。人家の浸水だけを目指にしたのであれば、肩すかしもいいところなので、そういう形ではなしに住民生活全体の中で整備計画を作って欲しい。(委員)

→ 河川整備計画では、流下能力を上げるための整備は区間を示しているが、堤防の補修や補強等の維持については文言のみとなっている。(事務局)

◆殿山ダム上流の山林などの治水が悪くなってきたことにより、ダム下流で洪水に見舞われることが多くなってきたため、山林環境などもダム上流からきちんと指導して欲しい。(委員)

◆12号台風（平成23年）の豪雨で和歌山県の至る所で大きな災害があった。その後、日高川なんかは大きな工事をどんどんやっている。それに比べ日置川は力が足りないというか、予算がついていない。この日置川大塔線は最たる例で、こんな道なんて他地方にない。河川工事も他地方はどんどんやっている。日置川も頑張ってもらって欲しい。(委員)

◆市鹿野橋から殿山ダムに行く川に沿った県道は非常に狭く、急であり危ないため、河川の整備とあわせて川に沿った県道の整備もお願いしたい。(委員)

◆機能低下している堤防はかなりある。優先度をつけて危険なところから順番にやって欲しい。(委員)

◆河道の掘削について、具体的にどこまでさわる計画なのか。河床が低くなっていれば、水の流れていない所であっても、恐らく地元同意が難しいのではないかと。ぜひ次も会議をやって頂き、具体的に掘削する所を示して欲しい。(委員)

→ 再度の考える会の開催については検討する。(事務局)

3.3 今後のスケジュールについて

今後のスケジュールについて事務局から説明。

◆河川整備計画の原案を作成した段階で、日置川沿いの区長を集めて、こういう整備計画を立てたと説明をして欲しい。(委員)

4. 閉会